

# 令和6年度全国学力・学習状況調査における

## 北九州市立 あやめが丘 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、6年生を対象として、令和6年4月18日（木）に、「教科（国語、算数）に関する調査」、文部科学省が指定した日（4月10日から4月30日の間）に「児童質問調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2. 調査内容

#### (1) 教科に関する調査（国語、算数）

##### 教科に関する調査（国語、算数）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

#### (2) 児童質問紙調査

##### 児童質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

### 3. 教科に関する調査結果の概要

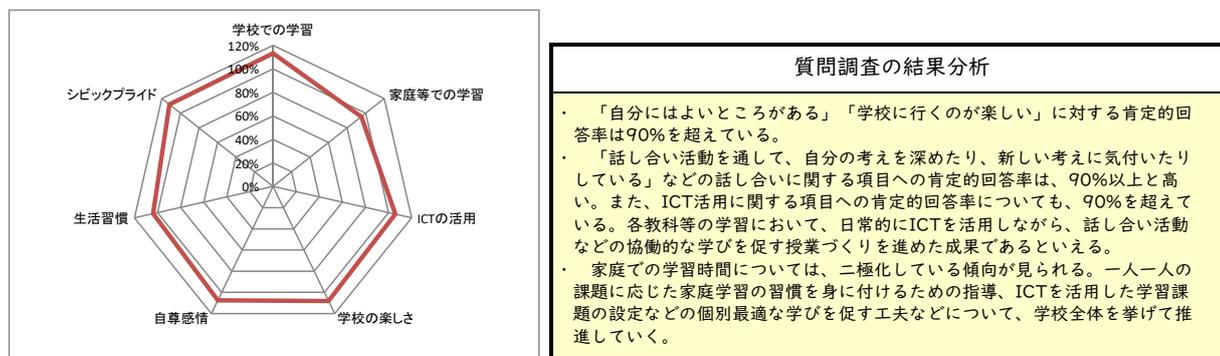
#### (1) 全国・本市の学力調査（国語、算数）の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.3	66	9.6	60
全国	9.5	68	10.1	63

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	・無答率は低い。 ・文章を読んで理解したことををに対して自分の考えをまとめる問題への正答率が高い。 ・「話すこと・聞くこと」領域の問題に課題が見られる。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	・文章全体の構成や内容を的確に捉えたり、表現の効果を考えたりする問題 ・自分の考えが伝わるように表し方を工夫して文章にまとめる問題	
	努力が必要な問題	・資料を効果的に活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する問題	
算数	全体的な傾向や特徴など	・無答率は低い。 ・図形を構成する要素を捉えるなどの「図形」に関する問題への正答率が高い。 ・グラフや表などから必要な情報を読み取って分類整理するなどの「データの活用」に関する問題に課題が見られる。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	・図形の意味や性質を理解したり、正確に立式したり計算したりするなどの知識・技能に関する問題 ・言葉や数値などを用いて自分の考えを分かりやすくまとめる問題	
	努力が必要な問題	・表やグラフから数量の関係を捉えたり、数量の関係を言葉や式で説明したりするなどの「データの活用」に関する問題	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問調査結果の概要



5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- 友達と協働的に学習し、「できた」「分かった」を実感できる授業づくりの継続（話し合い活動の更なる充実）
- ICTの効果的な活用の推進（調べたり考えをまとめたりする場面、交流する場面などにおける活用の工夫）

② 家庭生活習慣等に関する取組

- 児童が自分自身の課題を捉え、学習を調整し、学習習慣を身に付けることができるような学級活動等での指導・支援の継続
- ICTを活用した家庭学習の更なる充実（ドリルアプリの活用）